

# 「日本のエネルギー問題」って何？ 私たちにはあんまり 関係ないんじゃないの？



『安く』『美味しく』『栄養のある』料理をつくりたい！でも、この3つを満足するメニューに悩まれたことはありませんか？

エネルギー問題も同じです。電力会社は、『安定的』に『安く』『環境に優しい』電気をお届けすることが使命です。

しかし、私たちは、それぞれに大きな問題を抱えています。

いま、日本の電力の8割以上は、火力発電です。日本は、資源に乏しく、エネルギー自給率が約10%（先進国でワースト2位）しかないのに、石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を使う電源に頼りすぎているのです。

火力発電の燃料は、ほとんど海外から輸入しており、特に原油は80%以上を中東から輸入しています。もし、何らかの理由で輸入が途絶えたら、電気の『安定的』な供給にも、影響が生じる可能性があります。

『安く』お届けしたい電気料金についても、火力発電の燃料費や再生可能エネルギーを促進するための費用の増加によって、2010年度と比較して、一般家庭で約23%、産業向けで約27%、ご負担が増しています。

また、2013年度に、日本は過去最多の二酸化炭素を排出しました。地球温暖化の原因となる二酸化炭素は、欧州をはじめ世界各国が削減に向けた取り組みを進めており、日本も『環境に優しい』電気を増やすことが急務です。

『安定的』に『安く』『環境に優しい』電気をお届けするためには、火力・原子力・再生可能エネルギーなど、それぞれの発電方法の長所を生かし、バランスのとれた電源メニューに変えていく必要があります。

ぜひ、みなさまのご意見をお寄せください。

※出典：経済産業省資源エネルギー庁「日本のエネルギー2019」